

～認知症になっても安心して暮らせるまち～

認知症ガイドブック

鴻巣市版認知症ケアパス

認知症ケアパスは、認知症の進行に合わせて利用できるサービスや支援の情報をまとめたものです。



もくじ

● 認知症とは？	2	● 認知症について受診・相談したい	6
● 認知症の種類	2	● 鴻巣市で利用できる各種相談窓口①	8
● 認知症の症状	3	● 鴻巣市で利用できる各種相談窓口②	10
● 認知症に早く気づこう	3	● かかわり方などについて知っておきたいポイント	裏表紙
● 認知症の進行に合わせて受けられる支援や介護サービス	4		

認知症とは？

認知症とは、様々な原因で、一度獲得した脳の機能が低下し、日常生活に支障をきたす状態で、通常の加齢による衰えとは違います。

たとえば、朝ごはんを何を食べたか思い出せないのは、加齢による「もの忘れ」といえますが、朝ごはんを食べたこと自体を忘れてしまう場合は、「認知症」が疑われます。



●加齢による「もの忘れ」と認知症による「もの忘れ」の違い

加齢による「もの忘れ」	認知症による「もの忘れ」
<p>朝食は何だったっけ？</p>	<p>朝ごはんまだ？</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●体験の一部を忘れる「何を」食べたか忘れる。 ●目の前の人「名前」が思い出せない。 ●物を置いた場所を「思い出せない」ことがある。 ●「ヒントがある」と思い出せる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●体験の全部を忘れる「食べたこと自体」を忘れる。 ●目の前の人を見て「誰なのか」わからない。 ●置き忘れ・「紛失が頻繁」になる。 ●「ヒントがあっても」思い出せない。

この違いはあくまで目安です。始まりは本人より、家族が気づくことが多いものです。頻度や程度が重くなって心配になったり、日常生活に困るようなときは、かかりつけ医や認知症地域支援推進員、地域包括支援センターへ相談しましょう。

認知症の種類



認知症の代表的なものは、以下の4種類です。

※症状は一例であり、全ての症状がみられるものではありません。

①アルツハイマー型認知症

脳の神経細胞が徐々に減少し、脳が萎縮する（縮む）ために起こる病気。認知症で最も多いタイプ。

<主な症状>

- 最近のことを忘れる。
- 同じことを何度も言う。
- 嗅覚から衰え、悪臭に気がつかない。
- 緩やかに進行する。

②脳血管性認知症

脳梗塞や脳出血等により、脳細胞に十分な血液が送られずに、脳細胞が壊死する病気。

<主な症状>

- 脳の障害箇所によって症状が異なる。
- 手足のマヒや歩行障害等の神経障害を伴うことが多い。
- 気分が落ち込んだり、意欲が落ちる。
- 段階的に進行する。

③レビー小体型認知症

「レビー小体」というたんぱく質が脳の神経細胞にたまる病気。

<主な症状>

- パーキンソン病に似ている症状（手足のこわばり、小刻み歩行等）。
- 人物や動物、昆虫など詳細な幻覚や妄想がみられる。

④前頭側頭型認知症

脳の前頭葉や側頭葉を中心に徐々に萎縮する病気。

<主な症状>

- 周囲のことを考えない、自己中心的な行動がみられる。
- 同じ時間に同じ行動がみられる。

認知症の症状

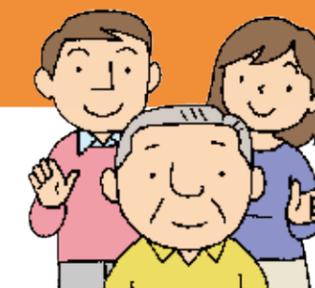
脳の機能が低下することによって、様々な症状が起こり、それに伴って行動や心の状態に変化が出てきます。これらの変化に、本人が一番とまどい、不安を感じています。

主な症状	行動や心のようす
<p>記憶障害</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新しいことを覚えられない。 ●覚えていたことをすぐ忘れる。 <p>見当識障害</p> <ul style="list-style-type: none"> ●場所や時間が分からなくなる。 ●時間・季節感が薄れる。 ●自分のいる場所や周囲の人との関係がわからない。 <p>理解・判断力の低下</p> <ul style="list-style-type: none"> ●考えるスピードが遅くなる。 ●2つ以上のことが重なるとうまく処理できない。 <p>実行機能の低下</p> <ul style="list-style-type: none"> ●計画を立て、段取りをすることができなくなる。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ●その場の状況が読めない。 	<p>不安・焦燥、うつ状態、幻覚・妄想（ものとりれ妄想）、徘徊、興奮・暴力、排泄の失敗、不潔行為、睡眠障害など</p>

認知症に早く気づこう

認知症は早期の発見が大切です

早期発見による3つのメリット



メリット 1 早期治療で改善も期待できる

認知症は、早期に発見し早期に治療をはじめると、改善が期待できるものもあります。

メリット 2 進行を遅らせることができる

認知症の症状が悪化する前に適切な治療やサポートを行うことによって、その進行のスピードを遅らせることができます。

メリット 3 事前にさまざまな準備ができる

早期発見によって、症状が軽いうちに本人や家族が話し合い、今後の治療方針を決めたり、利用できる制度やサービスを調べたりする「認知症に向き合うための準備」を整えることができます。

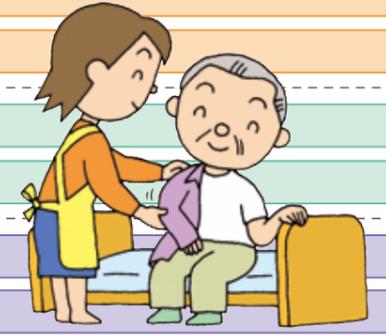
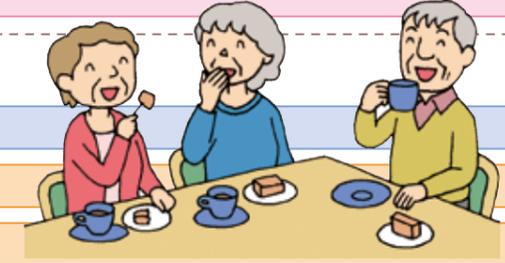
「軽度認知障害（MCI）」

いわば認知症の前段階で、軽い記憶障害などはあっても日常生活は大きな支障なく送れる状態です。この段階で適切に対処すれば、特にアルツハイマー型認知症への移行を予防、または先送りできるといわれています。

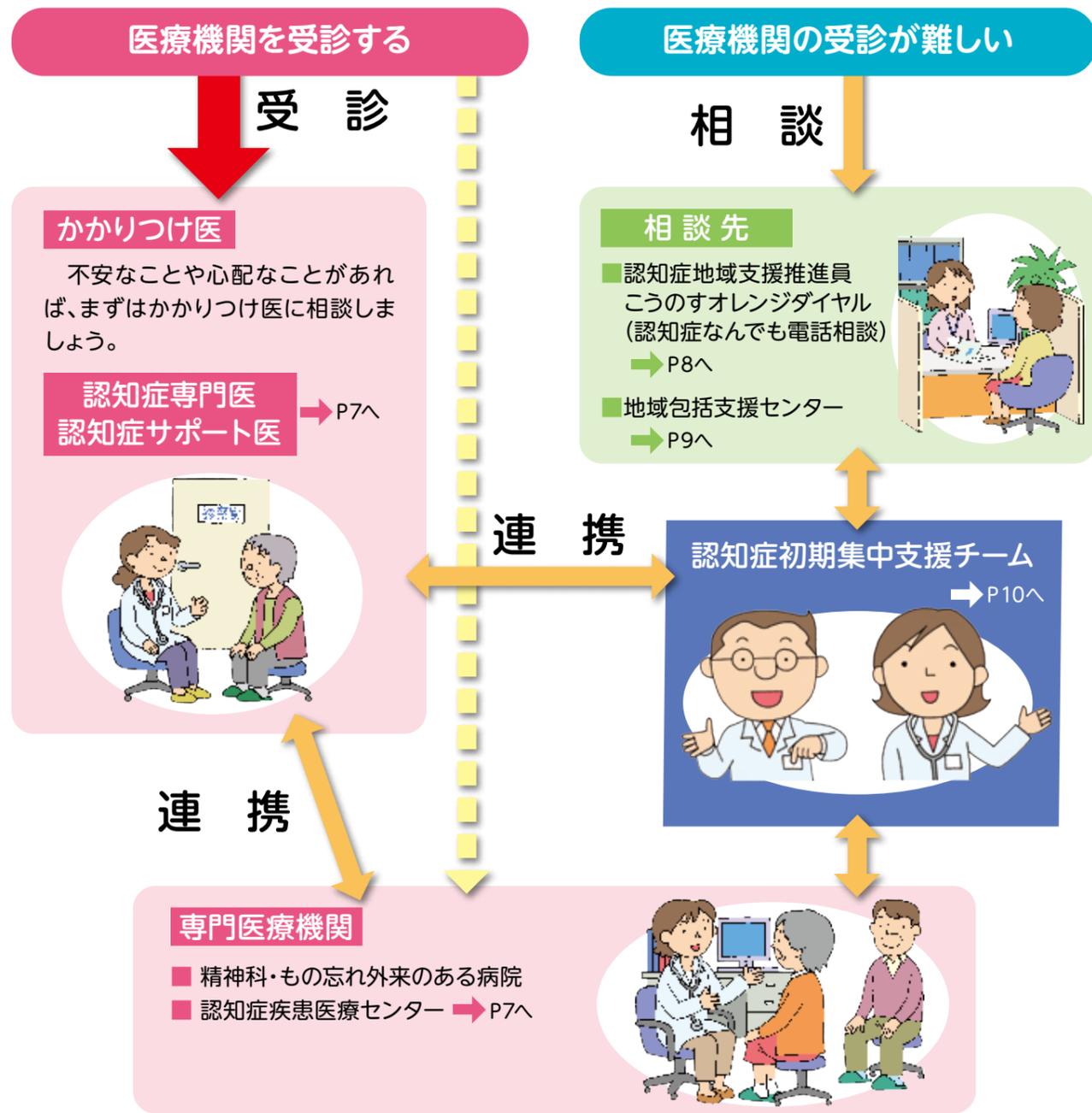
認知症の進行に合わせて受けられる支援や介護サービス

認知症は少しずつ進行し、症状が変化していきます。代表的なアルツハイマー型認知症の例を紹介します。必ずしもこのとおりの経過をたどるわけではありませんが、今後を見通す参考としてください。

	認知症かもしれない	少しの手助けがあれば自立した生活ができる	手助けや介護サービスがあると安心	常に介護が必要に
本人の様子	<ul style="list-style-type: none"> ●物の忘れがしばしばみられ、新しいことが覚えにくいことがある ●いくつかの作業を同時にすることに、時間がかかる ●「あれ」「それ」が多くなる ●日時があいまいになる 	<ul style="list-style-type: none"> ●同じことをくり返し聞く ●通帳や印鑑などの置き場所が分からなくなる ●約束を忘れる ●外出をおっくうがる ●イライラして怒りっぽくなる ●不安が強くなる 	<ul style="list-style-type: none"> ●着替えや入浴、食事や排せつなどに手助けが必要 ●日にちや場所、季節がわからなくなる ●料理がうまくできない ●季節に合った服が選べない ●道に迷うことがある ●薬やお金の管理が困難になる 	<ul style="list-style-type: none"> ●表情が乏しくなる ●会話でのコミュニケーションが難しい ●自分で食事ができなくなる ●歩行が困難になる
相談したい	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症地域支援推進員 ●このすオレンジダイヤル(認知症なんでも電話相談) ●オレンジカフェ (P.8) ●地域包括支援センター (P.9) ●認知症初期集中支援チーム (P.10) 			
医療機関	<ul style="list-style-type: none"> ●かかりつけ医(診療所・クリニック・病院など) ●認知症専門医・認知症サポート医 ●認知症疾患医療センター (P.7) 			
交流したい	<ul style="list-style-type: none"> ●地域で開催されている体操やサロン、お茶飲み会 ●オレンジカフェ (P.8) ●チームオレンジこのす 			
自宅での暮らしを続けたい	<ul style="list-style-type: none"> ●家事援助サービス(地域支えあい事業・シルバー人材センター) ●在宅高齢者等配食サービス ●重度要介護高齢者紙おむつ等支給 ●訪問理容美容サービス ●介護保険サービス ●訪問系サービス ●はつらつ生活支援サービス ●訪問介護 ●定期巡回随時対応型訪問介護看護 ●介護保険サービス ●通所系サービス ●はつらつデイサービス ●通所介護(デイサービス) ●通所リハビリテーション ●介護保険サービス ●住宅改修 ●福祉用具貸与 ●特定福祉用具購入 ●居宅療養管理指導 	<ul style="list-style-type: none"> ●ふれあい収集(ヘルパー) ●訪問入浴 ●訪問リハビリテーション ●訪問看護 ●ショートステイ ●小規模多機能型居宅介護 ●他 		
施設を利用したい	<ul style="list-style-type: none"> ●サービス付き高齢者住宅 ●有料老人ホーム ●介護保険サービス ●グループホーム ●介護老人保健施設 ●介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 			
家族支援・相談	<ul style="list-style-type: none"> ●オレンジカフェ (P.8) ●介護者交流会 ●介護者教室 ●認知症の人と家族の会電話相談 			
自動車の運転が不安	<ul style="list-style-type: none"> ●運転相談ダイヤル(警察) ●このす乗合タクシー ●デマンド交通ひなちゃんタクシー 			
見守り	<ul style="list-style-type: none"> ●民生委員 ●社協福祉見守り員 ●ご近所みまもり隊 ●高齢者あんしんみまもりサービス ●在宅高齢者等配食サービス ●徘徊高齢者等探索サービス ●ひとり歩き高齢者みまもりグッズ (P.11) 			
金銭管理・権利を守る	<ul style="list-style-type: none"> ●福祉サービス利用援助事業(あんしんサポート) ●成年後見制度 (P.11) ●消費者被害防止(鴻巣市消費生活センター) (P.11) 			



認知症について受診・相談したい



本人が受診を拒んだら

認知症は、新しく体験したことを忘れてしまう症状があります。それゆえ、もの忘れをしていること自体を、しっかり自覚しづらいことがあります。周囲の人が受診を勧めても、「自分はどこもおかしくないから病院に行く必要はない」と頑なに拒むことがあります。

自分ではおかしいと思っていないのに周囲から何度も受診を勧められたり、強引に病院に連れて行かれそうになれば、自尊心を傷つけられ、不信感をあおることになり、さらに受診が困難になる恐れもあります。

どうしても受診してくれない時は、まず、認知症地域支援推進員にご相談ください。必要に応じて、認知症初期集中支援チーム(認知症に関する医療や介護の専門職によるチーム)が本人や家族に集中的に関わりながら、適切な医療や介護につながるようサポートしていきます。

● 受診する

かかりつけ医

もの忘れや認知面等で心配なことがあったら、まずはかかりつけ医に相談しましょう

かかりつけ医とは、健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師のことです。いざという時に困らないためにも、健康診断などに行く機会を利用して、自宅や職場の近くに、かかりつけ医を見つけておきましょう。

*日本医師会ホームページより

「認知症専門医」または「認知症サポート医」【50音順】

まずはかかりつけ医に相談しましょう。かかりつけ医がない場合は「認知症専門医」または「認知症サポート医」にご相談ください。ご相談の際は、事前にお問い合わせください。

No.	医療機関名	所在地	電話番号
1	埼玉県済生会鴻巣病院	八幡田849	596-2221
2	村越外科・胃腸科・肛門科	吹上本町1-4-13	548-0048
3	山口内科クリニック	本町4-1-11	541-0215
4	わたまクリニック	加美1-6-46	541-5756

2025年9月現在

埼玉県認知症疾患医療センター

認知症疾患医療センターとは、認知症疾患における鑑別診断や専門医療相談、地域連携の推進や情報発信を行う専門医療機関です。
※受診の際は、事前にお問い合わせください。



No.	医療機関名	所在地	電話番号
1	埼玉県済生会鴻巣病院	鴻巣市八幡田849	048-501-7191
2	つむぎ診療所	秩父市寺尾1404	0494-22-9366
3	武里病院	春日部市下大増新田9-3	048-738-8831
4	西熊谷病院	熊谷市石原572	048-599-0930
5	丸木記念福祉メディカルセンター	毛呂山町毛呂本郷38	049-276-1486
6	戸田病院	戸田市新曾南3-4-25	048-433-0090
7	菅野病院	和光市本町28-3	048-464-6655
8	狭山尚寿会病院	狭山市大字水野600	04-2957-1141
9	久喜すずのき病院	久喜市北青柳1366-1	0480-23-3300

2026年1月現在

鴻巣市で利用できる各種相談窓口①



●相談する

認知症地域支援推進員

認知症に関することは

「認知症地域支援推進員」にご相談ください。

認知症になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう様々なサポートをしています。

このすオレンジダイヤル (認知症なんでも電話相談)
☎048-596-2283

(地域包括支援センターこのとり内)

毎週月・水 (祝日・年末年始は除く)
9:00~16:00



オレンジカフェ

認知症の人とその家族が安心して過ごすことができ、情報交換や相談ができる場です。認知症の有無や年齢に限らず、どなたでも参加できます。

こんなことができます

- 対応方法や心配ごとなどを医療・福祉の専門職に相談できる
- 認知症への理解を深めることで早期発見にもつながる
- 好きな時間に来て、好きな時間に帰れる
- ご本人、ご家族と一緒に参加できる
- 日ごろの介護疲れや不安などを話せるなど

詳しくは、
認知症地域支援推進員に
お問い合わせください。

オレンジカフェこのす
の日程はこちら



地域包括支援センター

地域で暮らす高齢者のみなさんを、介護・福祉・健康・医療など、総合的に支援する相談窓口です。

センター名	担当地域	連絡先	
川里苑	本町・天神・生出塚・鴻巣・中央・ひばり野・笠原・郷地・安養寺・常光・下谷・上谷・西中曽根・赤城・赤城台・新井・上会下・北根・屈巢・境・関新田・広田	〒365-0014 鴻巣市屈巢5158	TEL.569-2650 FAX.569-1899
このとり	本宮町・雷電・加美・宮地・三ツ木・川面・寺谷・市ノ縄・八幡田・神明・稲荷町・赤見台・愛の町・東	〒365-0073 鴻巣市八幡田849	TEL.596-2223 FAX.595-0388
彩香らんど	箕田・中井・すみれ野・大間・北中野・登戸・宮前・糠田・堤町・緑町・幸町・栄町	〒365-0062 鴻巣市箕田270-1	TEL.595-3331 FAX.595-3330
まむろ翔裕園	富士見町・原馬室・滝馬室・逆川・小松・松原・氷川町・人形	〒365-0043 鴻巣市原馬室3335	TEL.540-0294 FAX.541-4672
吹上苑	榎戸・大芦・鎌塚・北新宿・小谷・三町免・下忍・新宿・筑波・荊原・吹上・吹上富士見・吹上本町・袋・前砂・南・明用	〒369-0113 鴻巣市下忍4461	TEL.548-8991 FAX.548-8992

●若年性認知症について相談する

65歳未満で発症する認知症のことを「若年性認知症」といいます。多くの方が現役で、仕事でミスが重なったり、家事がおっくうになっても、疲れや更年期症状等と思って判断が遅れることが多くあります。不安のある時は早めの相談が大切です。

若年性認知症なんでも電話相談

認知症地域支援推進員が電話相談を受けています。

相談時間：毎月第2・4水 (祝日・年末年始は除く) 9:00~16:00
問合せ先：☎048-596-2283



若年性認知症サポートセンター

公益社団法人認知症の人と家族の会埼玉県支部が行っています。社会保障・医療・サービス受給・就労支援に関わることなどをコーディネートして支援します。

相談時間：毎週月~金 (祝日・年末年始は除く) 9:00~16:00
問合せ先：☎048-814-1212

鴻巣市で利用できる各種相談窓口②

●支える

認知症初期集中支援チーム

認知症を疑う症状があっても受診につながらない、必要とされる介護サービスが利用できていないなど本人・家族の困りごとに対して、認知症支援の専門チームが一定期間（おおむね6ヶ月以内）自宅に訪問するなど支援活動を行います。

問合せ先：認知症地域支援推進員 ☎048-596-2283



認知症の人と家族の会

公益社団法人認知症の人と家族の会埼玉県支部

認知症介護で悩んでいる方の相談窓口です。

相談時間：10：00～15：00（月～水、金、土）

※祝日・年末年始は除く

問合せ先：☎048-814-1210



認知症サポーター養成講座

認知症になっても誰もが安心して暮らせるまちづくりのために、認知症のことを正しく理解し、地域で温かく見守る「認知症サポーター」を養成する講座です。

問合せ先：地域包括支援センター（P9）

チームオレンジこうのす

「高齢者一人ひとりが住み慣れた地域で、互いにつながり支え合い、いきいきと安心して生活できるまち」をめざして、オレンジサポーターが認知症の人や家族の生活面・心理面を早期から支援する取り組みです。

問合せ先：認知症地域支援推進員 ☎048-596-2283

※オレンジサポーターとは認知症サポーターステップアップ講座を受講した認知症支援ボランティアのエキスパートです。

●鴻巣市独自のサービス

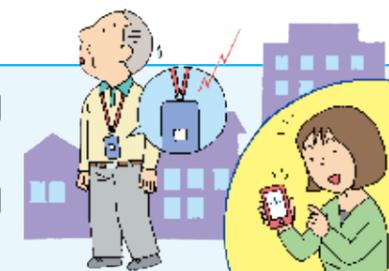
ひとり歩き高齢者みまもりグッズ等配布事業

認知症などによるひとり歩きで行方不明となった高齢者の早期発見・安全確保のためにみまもりグッズ等を配布します。

徘徊高齢者等探索サービス利用助成事業

専用の携帯型の端末機との通信により、介護者が利用者の行方を把握することができるサービスです。

早期保護と安全確保のために位置情報サービスを利用する際の費用の一部を助成します。



問合せ先：介護保険課 ☎048-541-1321

●権利を守る

福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）

判断能力の不十分な高齢者の方が、安心して生活を送れるようにご自宅へ定期的に訪問し、福祉サービスの利用の援助や暮らしに必要なお金の出し入れのお手伝いを行います。

問合せ先：社会福祉協議会 ☎048-597-2100



成年後見制度

判断能力の不十分な方々を支援します。財産管理や介護サービス等の契約をサポートします。

問合せ先：福祉課 ☎048-541-1321、地域包括支援センター（P9）
社会福祉協議会 ☎048-597-2100

鴻巣市消費生活センター

様々な消費生活に関する相談に応じます。

受付時間：10：00～15：30【12：00～13：00を除く】（月～金）※祝日・年末年始は除く

問合せ先：やさしさ支援課 ☎048-541-1321

法律相談（予約制）

法律上の問題について、弁護士・司法書士が相談に応じます。

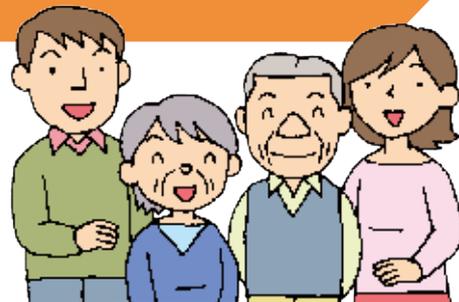
問合せ先：やさしさ支援課 ☎048-541-1321



かかわり方などについて 知っておきたいポイント

上手にかかわれば周囲の人もラクになる

認知症を正しく理解し、早い段階から家族や周囲の方が状況に合った接し方をすることで、本人の状態は落ち着き周囲の負担が軽くなることもあります。



認知症の方を中心とした接し方 5つのポイント

認知症で記憶などに障害が出て、人としての感情の動きがなくなってしまうわけではありません。認知症の方の気持ちになって考え、接することが大切です。

1 プライドは失っていません。

認知症であっても、これまでの人生で培った経験、自尊心や羞恥心は失われていません。認知症の方を尊重する姿勢が大切です。

2 過去と現在が混同しています。

過去に起こった出来事を順序立てて思い出せないことがあります。過去と現在が区別できずに混乱していることを理解しましょう。

3 自信をなくしたり、不安を感じています。

できていたことができなくなったり、失敗したりすることで不安が生じます。穏やかな声、わかりやすい言葉で話しかけられると気持ちが落ち着きます。

4 身近な人に、感情がストレートに出ます。

些細なことで怒ったり、身近な相手を一方的に責めるなど感情的になることがあります。不安や焦り、戸惑いなどによる本人からのサインととらえましょう。

5 介護者の気持ちが伝わります。

介護者がいらついていると敏感に反応したり、興奮したりします。介護者が認知症を理解して接していると、認知症の方も安心して落ち着きます。

※認知症の方は、身近で心を許している相手に対して、つらく当たる傾向があります。毎日介護している方にとってはつらいことなので、不快感を覚えてしまうことも時には仕方ありません。お気軽にご相談ください。



問合せ先

鴻巣市役所 介護保険課
鴻巣市認知症地域支援推進員

☎048-541-1321 (代表)
☎048-596-2283



2026年発行

禁無断転載©東京法規出版
1805831